

教育長日記 (平成25年4月24日)

青い空に浮かぶ白い雲 29

—「小中一貫教育の推進」—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 相手を思いやる話し方「あなたはそう思うのね、私はこう思うの…」

小中一貫教育による教育成果を明らかにする

今日は、4年ぶりに全校実施で復活した文部科学省「全国学力学習状況調査」の日です。

平成17年度から昨年度までの調査結果を整理していたら、小学校と中学校との意識の違いを表わす興味深いデータがまとまりましたのでグラフにして紹介します。

このグラフは、児童生徒に授業内容がどのくらいわかったかを聞いたものです。小学校と中学校とで大きく違いがみられるわけには、中学校になると学習する内容が多くなる、学習する内容が難しくなる、指導の仕方が違う、一日の生活の様子が変わる等の変化が大きくなるため、このような違いが生ずるのだろうと考えられます。

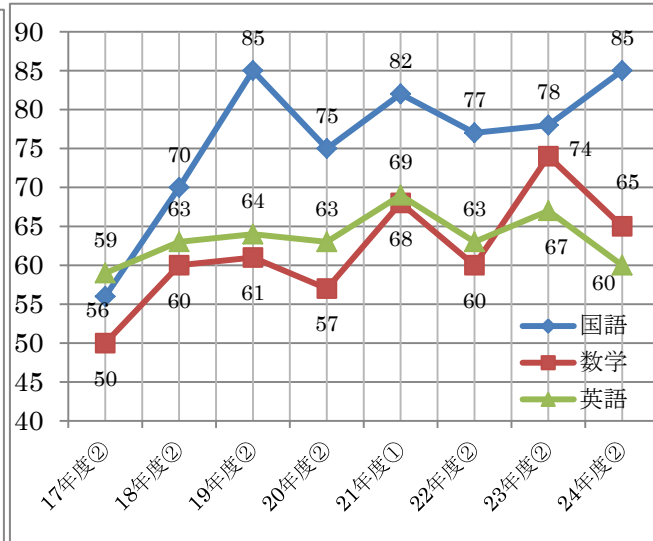
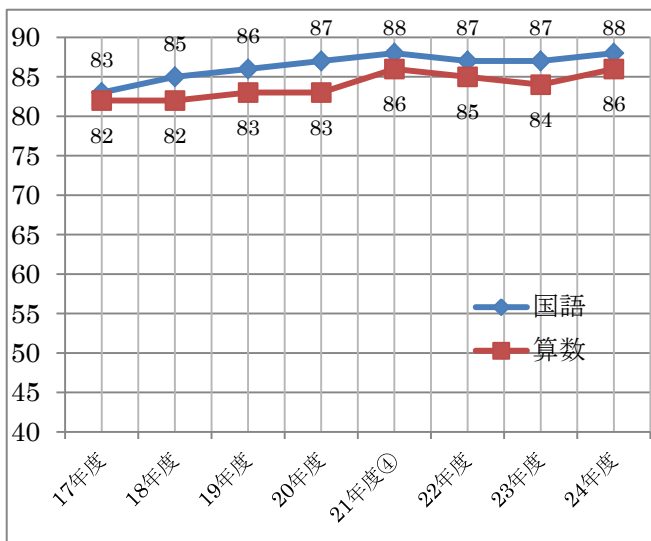
このような小学生と中学生との意識の違いにも着目しながら、児童理解や指導法の改善・工夫をしあう小中一貫教育の推進、その取り組み成果を今後少しずつ明らかにしていきます。東大和市教育委員会と東大和市立小中学校は、本年度「小中連携教育」から「小中一貫教育」への具体的な取り組みを始めました。

授業の内容はどのくらいわかりますか (東大和市)

小学校5年生

「よくわかる」と「どちらかと言えば分かる」割合%の合計

中学校2年生



第3回ゆりーとダンスコンテスト 東京大会 **優勝**

いよいよ第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会が間近に迫ってきました。東大和市は、ボウリングとスポーツチャンバラの競技会場です。

現在、大会をさらに盛り上げるために都民参加の型で大会マスコットの「ゆりーと」オリジナルダンスコンテストを実施しています。1月13日(日)、立川市泉体育館で行われた第3回大会では、東大和市民を中心に構成されたER'Sチームが一般の部でみごと優勝しました。

このところの中学生、高校生の活躍、そして今回の優勝、私たちも元気が出ます。

ゆりーとダンスを踊り、全員で大会開催機運を盛り上げてきた教育委員会「社会教育部」にも拍手!

